

じんげん ア ジ ー ル asile

春夏号
2014
大谷大学広報誌

自らを成長させ豊かな人生を

人に寄り添い思いやる心が 社会をより良く変えていく



東日本大震災から4年目の春を迎えた今、被災地に関する報道が少なくなり人々の関心が徐々に薄れつつある中で、継続して支援活動をする方々があります。本学卒業生であり真宗大谷派 太子山楽運寺の住職である佐々木賢祐さんもその一人。活動の根底にある親鸞聖人の教えとは何か、生きる力を与えてくれる人と人との絆とは何か、草野学長と共に語り合っていたいただきました。

**被災者の思いを音楽に乗せ
多くの人に伝えていくために**

草野 まず始めに、佐々木さんが行っている被災地支援についてどういった活動なのか聞かせてください。

佐々木 実は2010年に同じ名古屋市内にいる大谷大出身の僧侶が集まって、「Gふんだりーか」という坊さんバンドを結成して、仏教の教えを歌で伝える活動をずっと続けていたのです。震災以後はチャリティライブなどで義援金を募り、福島県に届けると同時に現地でライブと炊き出しをやらせて頂いています。

草野 福島県と云えば、津波だけではなく原発による被害も深刻ですね。

佐々木 はい。最初に私たちが福島を訪れたのが2011年9月。内陸に位置する二本松市は津波被害はなく風景はほとんど変わらないのに、放射能への心配から子どもたちがマスクをしている姿が印象的で…。せめて元気になってほしいと、子どもたちの想いや言葉をつなぎ合わせた『テツナギマーチ』をつくり、今もライブで歌わせてもらっています。あと、相馬郡では津波被害もひどく新地町には今なお多くの方が仮設住宅で暮らしておられるので、二本松市と新地町が、主な活動の場になっています。

草野 本学でもたくさんさんのボランティアが被災地を訪れています。段々と時間が経つにつれて被災者の方が一番心配されているのが、忘れられることなのだと思います。

佐々木 そうなんです。義援金を募っても「もうやったから」と言われます。ですから、私たちもCDなどの売上をすべて義援金にしてお届けするほか、忘

れないためにも被災地の現状を少しでも伝え、多くの人に知っていただくのが私たちの役目だと思っています。

人に寄り添うという

親鸞聖人の教えが活動の原点

草野 メンバー全員が本学卒業生とのことですが、皆さんの活動と本学での学びが結びつく点はありませんか？

佐々木 そうですね。支援活動のテーマが「忘れない」と「共に生きる」で、そこには親鸞聖人の「人に寄り添う」という精神があると思っています。被災地で私たちができることは限られているけれど、それならばせめて心に寄り添いたいと…。

草野 親鸞聖人が生きておられた時代、冷害によって飢饉が起こり、本当にたくさんの方が亡くなりましたよね。その中で親鸞聖人の「臨終の善し悪しを問わない」という言葉が一体どういう意味なのか考えてみたのです。食べる物がなく死に至るのは非常に無惨なこと。その中で残された家族や友人は「本当に浄土にいけるのか」という疑問を抱いたはずですよ。そうした人々の心を思いやり、悲しみや痛みを寄り添ったからこそ、あえて「みんな浄土に救われる」と説いたのかなと。「人に寄り添う」という親鸞聖人の教えを学び、佐々木さんの今の活動につながっていることは、大学としても大変嬉しいですね。

佐々木 被災地だけでなく日常の暮らしの中でも、やはり人と寄り添うことの大切さを感じます。お寺という場所は古くから人々が集まる場所であり、人と人との絆を深める場所でもありまし

た。人間関係が希薄になった今、もう一度そういう場所をつくっていくのが私たち住職の仕事かもしれません。

草野 それは普遍的な課題でしょうね。人に寄り添うにはまず他人に敬意を払い、同じ人間として接することが大事。これから学ぶ皆さんにも人を思いやる気持ちを育み、より良い社会を築いてほしいと願います。

良き師、良き友と出会い

自らを成長させ豊かな人生を

草野 先輩から後輩へのメッセージはありますか？

佐々木 多くの出会いをつくり、人との絆を大切にしたいですね。私が現在、歌を通して充実した活動ができるのも、ある先輩住職のおかげです。住職になったからには歌を辞めなければと悩んでいたとき、「浄土真宗を学んだのなら、それを詩にして歌えばいい」という先輩の一言が、すべての始まりだったように思います。音楽を諦めなかったからこそ多くの仲間にも巡り会い、音楽法話というスタイルを生み出すことができました。それが今では、私自身の生きがいになっています。

草野 それは素晴らしいことですね。最近では残念ながら、他人とのつながりが希薄になっているように感じることがあります。もともと人と深く関わり、その中で多様な価値観を学んでこそ、新しい道が拓けてくるのだと思います。

佐々木 私が学生の時も、同年代の横のつながりはあっても、先輩や先生など縦のつながりは少なかったですね。何か調べるにも、自分で調べて自分で解決し

てしまおう。それだけだと、あまり成長がないような…。

草野 ですから学生の皆さんにはサークル活動にも積極的に参加してほしいですし、もともと先生方と議論を楽しむなど、年代を超えた人間関係をぜひつくってほしいです。自分とは異なる意見や価値観を学ぶことも、自己の発見につながるはずですから。

佐々木 私自身、大谷大学での学生生活は本当に楽しく、ここで多くの仲間や先輩に巡り会えました。社会人になって生涯の財産と思えるような出会いを、ぜひつくってください。

大谷大学 学長

草野 顕之 ぐさの けんし

専門分野/日本仏教史(中世)・真宗史。1976年3月大谷大学文学部(史学科)卒業。1981年3月同大学院文学研究科(仏教文化専攻)博士課程満期退学。2003年博士(文学)(大谷大学)。学生部長、学監・文学部長などを歴任し、2010年4月より第27代学長。

太子山 楽運寺 第15代住職

坊さんバンド「G・ぶんだりーか」代表

佐々木 賢祐 ささき けんゆう

1999年真宗学科前期卒業。真宗大谷派 太子山楽運寺第15代住職。2010年、坊さんバンド「G・ぶんだりーか」を結成し、音楽を通じて仏教を身近に感じてもらう活動を始める。東日本大震災以後「福島の人たちと手をつなごうプロジェクト」を展開中。



【メンバー】

- 賢祐 (太子山 楽運寺)
- 修 (高倉山 淳徳寺)
- 伊藤 伊久夫 (法得山 仏声寺)
- 寺西 秀美 (四宝山 珉光院)
- 小櫻 一尊 (金林山 善正寺)
- 加藤 恵信 (攝化山 随縁寺)
- 土井

【活動歴】

- 2010年 4月 名古屋教区の僧侶のみで結成
- 4月 「いのちの輝き」CD発売
- 2011年 8月 アルバム「ほとけの願い」発売
- 9月 「福島の人たちと手をつなごうプロジェクト」
- 2012年 3月 「テツナギマーチ」発売
- 5月 「福島の人たちと手をつなごうプロジェクト2」
- 8月 「いのち～あなたは一人じゃない～」DVD発売
- 2013年 4月 教如聖人400年法要 こどものついでin東本願寺
- 4月 「本願寺のアイドル」発売 ※こどもの集い OP曲・エンディングテーマ曲
- 5月 「福島の人たちと手をつなごうプロジェクト3」
- 5月 「いのちの日」全国発売
- 9月 「まごころ」発売 ※福島県相馬郡新地町応援ソング



坊さんバンド「G・ぶんだりーか」活動プロフィール

2010年、宗祖750回忌お待ち受け法要をご縁に、音楽を通じて仏教を身近に感じてもらうと結成。メンバーは20代～60代の真宗大谷派の僧侶6人。「G」は「衆会」でグループのこと。法務の都合でメンバーがなかなか揃わないため、ご縁があるメンバーで参加すること。「ぶんだりーか」は白いハスを意味するサンスクリット語。泥の中に咲き、仏教を象徴する花。

東日本大震災以後はグッズの売り上げを義援金として「福島の人たちと手をつなごうプロジェクト」で直接現地へ届けている。新聞、雑誌などの掲載をはじめ、テレビラジオ、イベントの出演など様々なメディアで活躍中。

●お問い合わせ先

坊さんバンドG・ぶんだりーか事務局
TEL: 052-228-0331
Mail: info@bousanband-GP.com
URL: www.bousanband-GP.com

2014年4月以降の主なスケジュール

- 5月5日 桑名別院こども御遠足
時間/昼から
会場/桑名別院
- 10月26日 明園報恩講
時間/14:00～
- 10月28日 誠願寺報恩講
時間/15:30～
- 11月8日 豊田 高福寺こども報恩講
時間/11:00～

私たちのキャンパス紹介



先生との距離が近く、どんなことでも気軽に相談できる環境です。



玄澤 未佳(社会科学 第4学年)

ゼミの人数が10名程度と少人数なので、先生が親身に相談にのってくれることが魅力的です。先生の研究室にも気軽に入って、学業や進路相談だけでなくプライベートなこともお話できるアットホームな環境なので、安心して大学生活を送ることが出来ますよ。

小さなキャンパスに凝縮された大きなこと、4年間で何をしますか？



蛭可 徹(哲学科 第4学年)

小さな大学ですが、色々な人たちとの出会い、今まで持っていなかった価値観との遭遇、一生の財産となる学びなど、大きなことがこの大学には凝縮されています。4年という貴重な時間を使って、色んなことをしてみるのはどうでしょうか。



尋源館 / じんげんかん

1913年に竣工され、昨年に100周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴的なシンボルの建物です。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

至誠館 / しじょうかん

教務課・学生支援課・キャリアセンター

大学内の職員室のような場所。奨学金のことや試験のことで分からないことがあった時など、困った時には至誠館へ。

響流館 / こうるかん

購買部(セブン・イレブン)

大学構内に、購買部としてセブン・イレブン大谷大学店が営業しています。谷大グッズや大学生活に必要な文房具等を購入することができます。

学内書店(文栄堂)

教科書や辞書をはじめ仏教関係の専門書、新書、文庫本から雑誌まで揃えています。またレポート・卒業論文等に必要で大谷大学論文用紙も販売しています。

博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史

キャンパスカレンダー

4月

- 入学式・オリエンテーション
- 若葉祭
- 前期授業開始
- Web聴講登録

5月

- 宗祖誕生会

6月

- 「卒業論文」「卒業研究」題目届提出

7月

- 前期定期試験

8月

- 夏期休暇



開学記念式典の様子

7月のキャンパス風景

総合研究室での様子

4月のキャンパス風景

入学式後の様子

色々なイベントに参加して、一緒に楽しみましょう。



宮澤 雪乃 (歴史学科 第3学年)

新入生歓迎実行委員会という委員会に所属しています。新入生歓迎実行委員会では、「若葉祭」をはじめ、4月から入学してくる新入生の大学生活のスタートを応援できるような様々な企画をしています。友達作りのきっかけにもなるので、みなさんぜひ参加してください。

好きなクラブやサークルに入れば、きつといい経験になりますよ！



中山 国成 (教育・心理学科 第3学年)

体育会のバドミントン部で活動をしています。体育会と聞くと、毎日練習があったり、厳しい規則があったりと思うかもしれませんが、実際はそんなことはありません！活動が週3日程度のみあります。大学から始める方もいるので、未経験の方でも気にせず、活動を覗いてみてはいかがでしょうか？



学・文学など、他分野にわたる史・資料を所蔵する博物館です。定期的に企画展や特別展を開催しています。

語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE) 3F

留学や語学学習、留学生との交流に興味のある学生をサポートする部屋です。留学説明会や勉強会、留学生との交流イベント等を実施しています。

博綜館 / はくそうかん

保健室・学生相談室・人権センター 1F

学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、独りで悩まず気軽に訪ねてください。

4号館

教職支援センター 1F

教員免許の取得や教育実習について相談のつてくれる頼れるアドバイザーがいます。教員採用試験に関する資料も多く、パソコンも使用できるので教員をめざしたい方はぜひ利用してください。

部室棟

部室棟には各クラブの部室が一同に集まっています。気になるクラブがあれば、学生手帳に部室の場所が載っているので、どんどん訪ねてみてください！

- 9月
 - 集中講義
 - 後期授業開始
 - Web聴講登録修正
- 10月
 - 開学記念日
- 11月
 - 学園祭「紫明祭」
 - 学園祭「紫明祭」
 - 大学報恩講
- 12月
 - 「卒業研究」提出 (仏教科・幼児教育保育科)
 - 冬期休暇
- 1月
 - 「卒業論文」提出
 - 後期定期試験
 - 卒業論文口述試験
- 3月
 - 卒業証書・学位記授与式



卒業式後の様子



1月のキャンパス風景



学園祭の様子



11月のキャンパス風景



PICK UP! クラブ活動



好きなことに、
思いきり夢中になってみよう。

心から夢中になれることって、そんなにない。
だから見つかったら、納得のいくまで追求してみよう。
学生時代は、そんな気持ちを大切に育て、
たくさんの友達と共有できる時。
「好き」ということに、とことんこだわると、
あなたの人生はきつと豊かになる。

児童文化研究会

部員数…7名(男3名 女4名)
活動日…週3日
顧問名…西村 美紀

私たち児童文化研究会は、人形劇を中心にパネルシアターやオリジナルのゲームなどを通して子どもたちと触れ合うことを目的に活動しています。練習日は週に3日です。人形劇の台本や人形を自分たちで作りながら練習を重ね、公演依頼などに備えています。大変なこともあります。子どもたちの笑顔を見ると本当に嬉しくなります。夏休みには、地方で公演も行うので、たくさんの人との出会いが待っています。子どもが苦手という方でも楽しめるサークルです。

主な年間スケジュール

- | | | | |
|----|----------|-----|----------------------|
| 5月 | 新入生歓迎公演 | 10月 | 大阪難波別院公演 |
| 8月 | 夏期地方巡回公演 | 11月 | 学園祭展示公演 |
| 9月 | 夏合宿 | | (年間通して依頼公演を行なっています。) |



大谷文芸

部員数…8名(男4名 女4名)
活動日…部会・月1回
顧問名…番場 寛

大谷文芸は、文章能力の向上を目的とし、小説を始めとした文芸作品の創作を主な活動としています。流れとしては、部員で原稿を持ち寄り、2週間ほど部内で校正作業をします。編集して機関誌として発行した後は、作品内容を評価する合評を行います。綿密な合評のための場として合宿を行います。活動は難しいように見えますが、入部当時は初心者だった部員も多いです。文芸作品の執筆経験問わず興味のある方は、気軽に部室にお越しください。

主な年間スケジュール

- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 4月 | 若葉祭 | 11月 | 学園祭 |
| 7月 | 合宿号作製 | 12月 | 年刊誌作製 |
| 9月 | 夏合宿 | 2月 | 春合宿 |
| 10月 | 学祭号作製 | | |



2013年度秋季大会等結果

※学生の学年は、大会時のものです。

書道部

- 第60回日本学書展
 - 準特選 大伴 瑠弥／国際文化学科第3学年
稲葉 真希人／教育・心理学科第4学年
 - 入選 岡本 芽依／歴史学科第2学年
森野 裕也／歴史学科第2学年
保々 大地／文学科第3学年
一法師 純真／真宗学科第3学年
 - 努力賞 鈴木 琢弥／国際文化学科第3学年

柔道部

- 第57回京都学生柔道段別体重別選手権大会
段外の部 準優勝 目幸 宗晟／真宗学科第3学年

空手道部

- 第56回全関西大学空手道選手権大会
2部

ソフトテニス部

- 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦
9部2位

アメリカンフットボール部

- 関西学生アメリカンフットボールリーグ2013
3部Eブロック2位

跆拳道部

- 第7回全日本学生テコンドー選手権大会
3位(全日本テコンドー選手権への出場権獲得)

野球部

- 平成25年度京滋大学野球 秋季リーグ戦
新人王 土平 厚樹／仏教学科第1学年
- 第4回京都新聞社杯 滋賀県社会人・大学野球交流大会
準優勝
- 平成25年度秋季新人戦
準優勝

陸上競技部

- 第51回京都スポーツ祭典陸上競技大会
 - 個人戦 走高跳 2位 金子 修／仏教学科第3学年
3位 岡崎 遊童／社会学科第2学年
5位 尖戸 健太郎／歴史学科第2学年
 - 三段跳 4位 岡崎 遊童／社会学科第2学年
6位 澤田 博也／国際文化学科第1学年
 - 200m 5位 西岡 慎悟／歴史学科第2学年
 - 団体戦 4×100mリレー 7位
4×400mリレー 5位

バスケットボール部

- 平成25年度関西女子学生バスケットボール リーグ戦
4部Aブロック上位ランク 5位
4部 得点王 阿久根 真帆／文学科第3学年
- 平成25年度関西学生バスケットボール リーグ戦
6部8位

サッカー部

- 第91回関西学生サッカーリーグ
3部Aブロック2位 2部昇格
優秀選手賞 清水 健／文学科第4学年
西森 大地／社会学科第2学年
國松 和貴／社会学科第4学年
松田 昇大／社会学科第3学年
- アシスト王 松田 昇大／社会学科第3学年

卓球部

- 平成25年度秋季関西学生卓球リーグ戦(男子)
4部Dブロック1位
4部総合3位

バレーボール部

- 2013年度秋季リーグ戦
8部6位

バドミントン部

- 関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会
男子6部A2位
女子5部A3位
- 京都学生バドミントンクラス別大会
3位 ペア 川端 孝彰／歴史学科第2学年
齋藤 淳史／社会学科第1学年



写真提供：大谷大学新聞社

サッカー部

部員数 … 22名(男20名 女2名)
所属連盟 … 関西学生サッカー連盟2部リーグ
京都学生サッカー連盟
活動日 … 週6回(火～日曜)
顧問名 … 織田 顕祐

サッカー部は、関西学生サッカー連盟に所属しており、1年間のリーグ戦を通して力をつけていきます。昨季のリーグ戦では念願の2部昇格を実現させました。今年度からはさらに良い環境でサッカーができるということで、部員のモチベーションもより一層高まっています。時には厳しい練習となることもありますが、監督をはじめ、先輩・後輩関係なくとも仲が良いです。部員全員が幼いころからサッカーを続けてきたわけではないため、経験が少ない方も大歓迎です。

主な年間スケジュール

4月	関西学生サッカー選手権大会 関西学生サッカーリーグ【前期】	9月	定期戦 関西学生サッカーリーグ【後期】
5月	関西学生サッカーリーグ【前期】	10月	関西学生サッカーリーグ【後期】
6月	関西学生サッカーリーグ【前期】	11月	関西学生サッカーリーグ【後期】
7月	関西学生サッカーリーグ【前期】	1月	初蹴り



剣道部

部員数 … 13名(男9名 女4名)
所属連盟 … 関西学生剣道連盟
京滋学生剣道連盟
活動日 … 週6回(月～土曜)
顧問名 … 一楽 真

剣道部は現在、男子9人女子4人で活動しています。活動時間は週6日6限の時間に体育館の道場で練習しています。土曜日の練習には外部から監督を招いて厳しい指導をしていただいています。練習時間が短く、練習に参加できる人数が少ないこともあり、関西の大会においてなかなか良い成績を収めることができていませんが、毎日の練習を大切に部員同士で切磋琢磨し、少しでも大会で良い成績を出せるように頑張っています。これからも伝統ある剣道部で部員一丸となって頑張っていきます。

主な年間スケジュール

4月	若葉祭、クラブ紹介 関西学生剣道選手権大会(関西学生剣道連盟)	9月	全日本仏教系大学剣道大会 関西学生剣道優勝大会(関西学生剣道連盟)
5月	西日本学生剣道大会(九州学生剣道連盟)	11月	関西学生剣道新人大会(関西学生剣道連盟) 京滋学生剣道新人大会(京滋学生剣道連盟)
6月	京滋学生剣道大会(京滋学生剣道連盟)	1月	OB会
7月	京都女子剣道大会(京都府剣道連盟) 京都府剣道選手権大会(京都府剣道連盟)	2月	関西学連リーダーズキャンプ(関西学生剣道連盟)
8月	OB会/合宿	3月	学生剣道大会(実業団剣道連盟)

キャリアガイド

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。



現在の就職環境

長く続いた不安定な経済情勢は、昨年からようやく好転の兆しを見せはじめ、各企業の採用意欲は高まりつつあります。そのため、就職環境は氷河期を脱したかのような報道がなされています。しかしながら、採用意欲の高い企業であっても、求める人物像の学生と出会えなければ採用枠が充足しなくても採用活動を終了する、いわゆる「厳選採用」の傾向は続いており、学生にとって「就職難」という状況に変わりありません。また、この厳しい就職環境は、企業の採用動向だけが要因ではありません。近年、多くの学生が社会に出て働くことへの意識や企業に対する志望動機が曖昧なまま、就職活動に臨んでいることも大きな要因として考えられます。

このような厳しい就職環境の中、将来、自分らしさを発揮し社会で主体的に生きていくためには、まず自らを知ることが大切です。したがって、できるだけ早い時期に、①将来の目標を定めるなどの人生設計（キャリアデザイン）を行うこと、②社会で求められる力（チームで働く力、前に踏み出す力、考え抜く力）を身につけること、を意識し実践する必要があります。学業はもちろん、課外活動やボランティア活動、自らの趣味などに時間を有効に使い、様々な経験から視野を広げ、学生生活を充実させることが肝要です。

キャリアセンターを活用しよう

キャリアセンターでは、卒業後の進路について、個別面談をはじめ、様々な支援を行っています。

特に就職に関する支援においては、求人情報や企業情報、過去の入社試験情報を提供するとともに社会で求められる力やビジネスマナーなどを身につけるための支援プログラムを実施しています。

また、短期大学部からの編入学や大学院への進学などについての相談にも応じています。

自らが描いたキャリアデザインを実現できるよう、学年を問わず、キャリアセンターを大いに活用してください。

進路・就職システム
「大谷大学就職ナビ」

本学では、進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」（登録が必要）を運用し、大学に届く求人情報、企業情報を提供しています。これらの情報は、学内外のパソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォンからも閲覧できます。

また、本システムのメール機能を活用し、ガイダンスや講習など各種支援企画のお知らせや求人情報を配信しています。

就職活動体験記

私は就職活動を通じて、早め早めに準備することが大切であると感じました。それは、私自身が就職活動中、何度も失敗したからです。どれだけ企業に伝えたいことがあっても、慣れない面接では上手く自分の考えを話せませんでした。少しでも上手く話せるように、事前に、企業のこと、自分のこと、そしてその企業で自分がやりたいことを、しっかりと考え、整理していきました。

また、友人・先輩・後輩、そしてキャリアセンターの方々などたくさんの人と会話をしたことも、自分のことをより良く伝えるためにも役に立ちました。いろんな方と話すことで、自分というものを客観的に見つめることができたからです。さらに、心の余裕という意味でも周りの人たちはとても支えになりました。

事前の下調べや自己分析、様々な方との会話などを通じて、心に余裕を持って面接に臨むことができました。



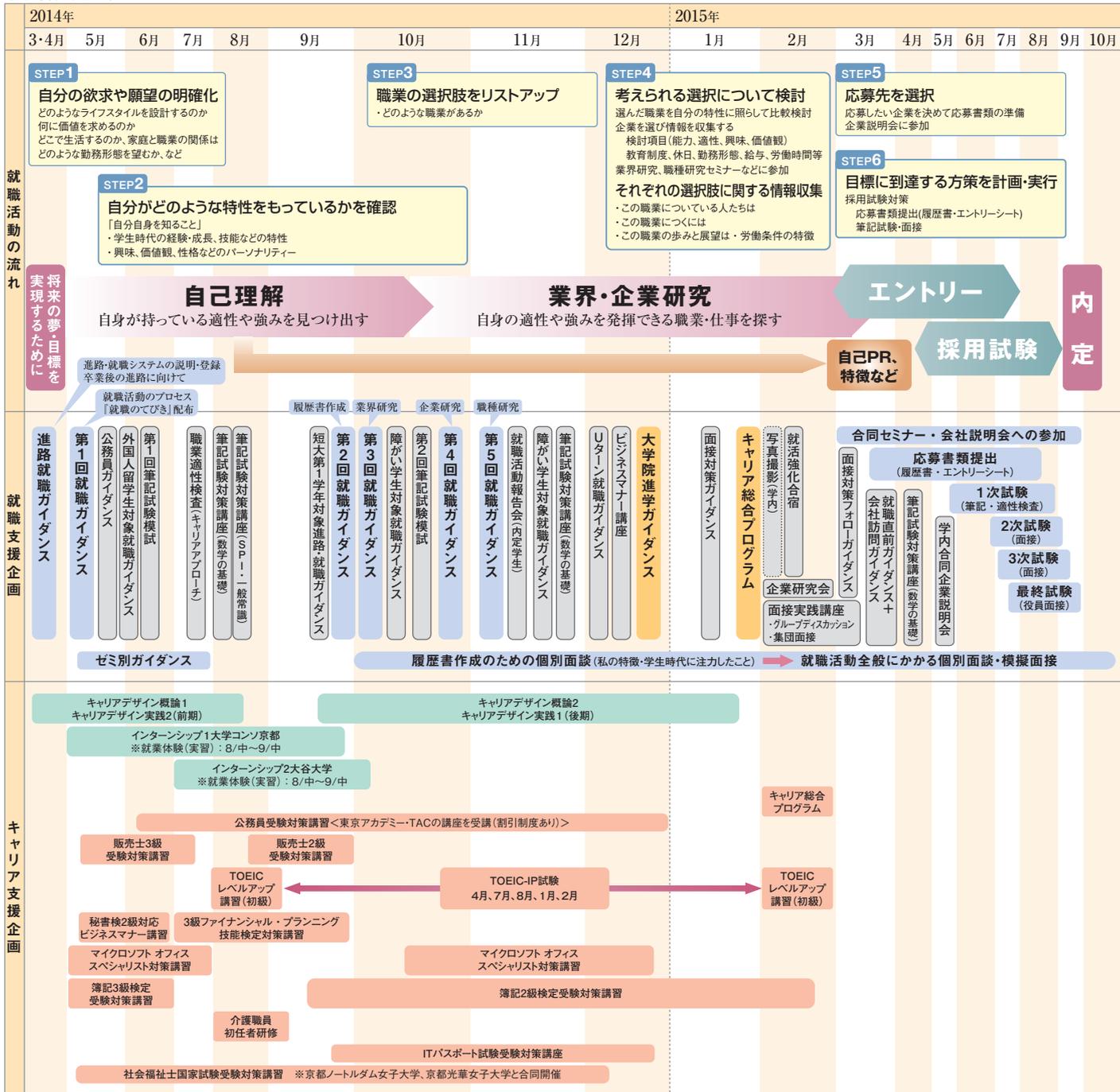
2014年3月
文学部社会学科卒業

林 一成

内定先：
石黒メディカルシステム株式会社

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/03>

就職活動プロセス (2016年3月卒業・修了予定者)



※教員(幼稚園、小学校、中学校、高等学校)・保育士をめざす学生の就職活動プロセスは、対象となるガイダンスでお知らせします。

就職支援企画

① 個別相談・模擬面接の実施

キャリアセンターの職員やキャリアアドバイザーが進路全般の相談に応じるほか、就職に関する応募書類(履歴書・エントリーシート)の作成補助・点検や模擬面接など、学生一人ひとりに応じた支援を行っています。

② 就職ガイダンスや各種対策講座の実施

卒業後の進路や就職活動に対する理解を深めるとともに、就職活動に関する情報提供や必要な力、マナーを身につけるためのガイダンスや実践講座を実施しています。

キャリア支援企画

卒業後の人生設計を考えながら、目標をもって学生生活を送り、社会人・職業人として必要な意識や職業観を身につけるためにインターンシップ(正課科目)、資格対策講習などのキャリア支援企画を提供しています。

2016年3月卒業・修了予定者の就職活動スケジュール

2016年3月卒業・修了予定者から経団連の「採用選考に関する指針」に基づき、企業による採用広報活動の開始を卒業前年度の3月に、また採用選考の開始が、卒業年度の8月に改められます。従来より3カ月程度遅くなり、短期間での採用選考が予測されますので、これまで以上に、事前準備が必要となります。

キャンパストピックス

Event report

2014年1月14日(火)～24日(金)

パネル展示会「みんなでつくった尋源館」開催

～100年前から「現在」、そして「現在」から100年後へ～

大学のシンボルである尋源館(旧本館)は、昨年11月に落成式からちょうど100年を迎え、様々な記念イベントが実施されました。学園祭においても「みんなでつくろう尋源館」といった企画で赤レンガ(尋源館の通称)の100周年を盛り上げました。これは学園祭に会場された方に記入してもらったメッセージカードを巨大パネルに張合わせるというものです。

そしてパネル展示会「みんなでつくった尋源館」を開催して完成したパネルとメッセージ記入いただいた方々の写真を披露しました。展示会では、過去に学園祭で招いたプロアーティスト等のサイン色紙展示コーナー、尋源館絵画展受賞作品展示、



学園祭への要望コーナー等も設けました。さらに、学園祭実行委員会の学生が中心となって「100年後へのメッセージ」の募集を行いタイムカプセルに保存する企画も実施しました。メッセージはカードに直接記入するだけではなく、メールや電話での受付も行いました。最終日の1月24日(金)に集まったメッセージを100周年関係資料と一緒にタイムカプセルに詰め込み、学園祭実行委員と鈴木寿志学生部長が封印をしました。100年間伝えられてきた思いがあつて存在する「現在」が100年後に少しでも伝わればと思います。ご協力いただいたみなさん本当にありがとうございました。

2013年10月12日(土)

2013年度 雲井奨学金
奨学生証書授与式を実施

雲井昭善名誉教授からの寄付金を財源とした雲井奨学金の運用が開始されました。この奨学金は本学での学びに強い意欲をもちながら、経済的事情により修学困難な者に給付されるものです。

2013年度は、16名が出願し8名の方が奨学生として採用されました。証書授与式では、雲井先生より奨学生に向けて奨学金設立への想いを語っていただきました。



2013年12月23日(月)

2013年度 課外教育行事
(異文化との出会い) 影絵芸術の世界

課外教育行事(異文化との出会い)は、日本や他国の文化を音楽や映画などで幅広く紹介し、異文化理解の一助となることを目的として開催しています。今回は「影絵芸術の世界」をテーマに、本学講師のダシユシヨバラニ氏による講演「影絵芸術にみられる宗教観」と、ピントランラスによるガムラン演奏とワヤン(インドネシアの影絵芝居)を行い、約300名が来場しました。

Campus Information

2013年11月7日(木)

大谷大学長として
草野顕之教授を選任(再任)

学長任期満了に伴う学長選挙において候補者として選出した、文学部教授(歴史学科)草野顕之(くさのけんし/61歳)を11月7日(木)に開催した真宗大谷学園理事会において、大谷大学長として再任いたしました。

任期は、2014年4月1日から2016年3月31日までの2年間となります。

【略歴】

1952年
福岡県生まれ。

1976年

大谷大学文学部史学科卒。

1981年

同大学院文学研究科博士課程
(仏教文化専攻)

満期退学。

2003年3月

「戦国期本願寺教団史の研究」で
「博士(文学)(大谷大学)」。

本学特別研修員などを経て、文学部教授。学生部長、学監・文学部長などを歴任。

【専門分野】

日本仏教史(中世)・真宗史

2013年10月26日(土)・27日(日)

大谷大学真宗総合研究所(国際仏教研究)が ハンガリーで国際シンポジウムを共催

ハンガリーの学術交流協定校エト
ヴェシ・ロラード大学(ELTE)
を会場に、大谷大学真宗総合研究所
とELTE東アジア研究所共催の国
際シンポジウム「仏教における信」が
開催されました。本学からは織田顕
祐教授、藤嶽明信教授、ロバート・
F・ローズ教授、井上尚実准教授、マ
イケル・コンウェイ非常勤講師の5名
の教員が研究発表を行ない、さらに
公募によって選ばれた博士後期課程
学生2名(仏教文化専攻第2学年
李曼寧さん・仏教学専攻第1学年
竹林遊さん)が同行して、ELTEの
研究者や博士課程学生と学術交流
を行いました。

れ、テーマについて、様々な角度から議
論が深められました。その成果は
ELTE東アジア研究所発行の学
術書シリーズ第5巻として2014
年に出版される予定です。

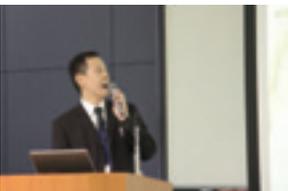
シンポジウム翌日には、ELTE文
学部の中に開設された仏教学セン
ターの開所式が行なわれ、本学から
のシンポジウム参加者も全員式典に
出席しました。真新しいセンター内の
書架には、真宗大谷派からELTE
に贈呈された坂東本『教行信証』カ
ラー影印本とその翻刻本のセットも
大切に収蔵されており、ここがハンガ
リーのみならずヨーロッパにおける仏
教研究拠点の一つになりつつあるこ
とが実感されました。

この講座は、総合研究室の特長を
活かした、多様な専門分野の助教協
働による教育・研究活動の一環とし
て行っています。

2013年12月11日(水) 第4回助教企画講座「学生のため のガクモン講座」開催

今回の講座は、「学問は『面白い』
か?!」分野対抗自慢合戦」をテー
マに、4名の助教がそれぞれ自分の
専門領域に関して発表し、誰が一番
「面白そう」かを投票によって決定
するというものです。学生に「学問と
は何なのか」「なぜ学問をするのか」
といった基本的なことをもう一度振
り返る良いきっかけにしてほしいとい
う主旨で行いました。

当日は約30名の参加があり、参加
者の投票により大帥啓(歴史学科)
先生が見事に選ばれました。大帥先
生からは、「今回の講座で研究の核に
なる部分を学生に伝えることができ
、嬉しかったです。しかし、自分の
ちの研究で明らかにしたことを社会
にどう還元するのがこれからの課
題です。」と述べてくださいました。



※キャンパストピックスの学年表記については、2013年度のものです。

2014年度 博物館開館予定

春季企画展

2014年
4月1日(火)～5月17日(土)

大谷大学のあゆみ

清沢満之と真宗大学

夏季企画展

2014年
6月3日(火)～8月3日(日)

仏典の諸相(仮称)

秋季企画展

2014年
9月9日(火)～9月27日(土)

大谷大学博物館の逸品
(実習生展併催)

冬季企画展

2014年12月9日(火)～
2015年2月14日(土)

京都を学ぶ

山田文昭

コレクション展(仮称)

特別展

2014年
10月11日(土)～11月29日(土)

戦国武将と神仏(仮称)

2014年度イベント予定

若葉祭

4月5日(土)

新入生に大谷大学でのキャンパスライフを知ってもらうためのお祭りです。キャンパスは、クラブ・サークルのパフォーマンスや展示、相談ブースなどとてもにぎわいます。

課外教育行事
—異文化との出会い—

課外教育行事—異文化との出会い—は、世界の様々な文化を知ること、映画や音楽、講演を実施しています。詳細については、日時や内容が決定次第、ホームページや掲示などお知らせします。



→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2014>

学生の活躍!

「赤レンガ賞」受賞!

詳しい情報は…大谷大学ホームページ
<http://www.otani.ac.jp/akarenga>

2013年11月4日(月)

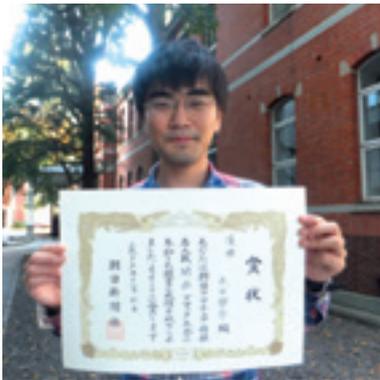
第37回
朝日アマチュア将棋名人戦の
関西代表に選ばれる

大阪リバーサイドホテルで開催された「第37回朝日アマチュア将棋名人戦関西ブロック大会」(朝日新聞社主催)におきまして、歴史学科第1学年の太田啓介さんが、2014年3月に開催の全国大会に関西代表の一人として選ばれました。

関西ブロック大会では、近畿2府4県での予選を勝ち抜いた20名が5組に分かれてトーナメントで対戦を行うのですが、太田さんはその中の1組で勝ち抜き、全国への切符を手に入れました。

太田さんは、小学生の頃から将棋を続けてきたそうで、高校3年生の時には、長野県代表として「第25回アマチュア竜王戦」に出場されたほどの実力です。

将棋の大会には大学別の団体戦もあり、太田さんは団体戦にも出場したいと思っているそうです。谷大生で将棋に興味がある方は、ぜひ太田さんに声をかけてください。



2013年12月14日(土)・15日(日)

ドッジボール男子日本代表として
第1回アジアカップに出場し、
優勝を飾る!

教育・心理学科第2学年の笠松順さんが、ドッジボール男子日本代表として東京のコズミックセンターで開催された第1回アジアカップに出場し、見事優勝しました!

当大会は、12月14日(土)・15日(日)に、東京の新宿コズミックセンターで開催され、日本・台湾・韓国・香港の4チームが出場しました。これまで国際的な交流試合はあったものの、公式戦としては初開催でした。

今回の大会で優勝を勝ち取った笠松さんは、輝く金メダルを胸に「アジアカップ優勝という結果は素直に嬉しい。同時に、ドッジボールを競技として、ますます普及させていきたいと意を新たにした。初の国際大会公式戦だったので、ドッジボール協会の方々はとても大変そうだった。支えてくれた多くの人たちに感謝の気持ちで一杯です」とコメントしてくれました。



2013年12月25日(水)・2014年2月27日(木)

「京都市スポーツ大賞(個人)」、
「京都府スポーツ賞(優秀賞・個人)」
を受賞!

社会学科第2学年の中麻さんは10月26日(土)〜30日(水)に開催された「アジアユースパラ競技大会マレーシア2013」のゴールボール日本女子ユース代表として出場し、見事2位という成績をおさめました。

そのことをうけて、2013年12月25日(水)に京都市より「京都市スポーツ大賞(個人)」を、2014年2月27日(木)には京都府より「京都府スポーツ賞(優秀賞・個人)」をそれぞれ受賞しました。

中さんは「市・府のスポーツ賞をいただけたことは素直に嬉しいです。年内に国際大会が開かれるので、そこに出場して、またJAPANのユニフォームを着たいです。どんなボールでもとれる鉄壁のデフェンダーが、いまめざす選手像なので、目的意識を明確にして練習に取り組み、色々な球種に対応できるようにになりたいです!」と意気込みを語ってくれました。



Our teacher

私たちの先生

学生の主体性を大事にしながらも、的確に道筋を示してくれる頼れる存在です。



短期大学部仏教科 講師
西本 祐攝

1975年熊本県生まれ。1997年熊本大学工学部卒業。1999年大谷大学文学部真宗学科卒業。2004年大谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻単位取得退学。2007年大谷大学にて博士(文学)を取得し、同年大谷大学短期大学部助教に着任。2011年大谷大学短期大学部講師となり、現在に至る。
専門/真宗学



紹介してくれた短期大学部仏教科・演習IIクラス(第2学年)のみなさん

短期大学部仏教科の特徴といえば、ユニークな経歴の学生が多いこと。高校から進学する人はもちろん、別の大学で学位を取得した人、社会人を経験した人、キャリアを終えもう一度学び直しに来る人など、実にバラエティ豊か。中には70代の学生もいて、とても刺激的な環境です。

西本先生の実践仏教演習IIは、親鸞の語録である『歎異抄』を読み解き、その思想や言葉に込められた意味を考えていくというもの。章ごとに学生2〜3名でグループをつくり、研究発表と質疑を行う中で、自由な対話を中心に語り合っていきます。そんな授業で面白いのは、異なる経歴や年代の仲間が持つさまざまな意見や価値観に触れ、新しい視点や発想を身につけることができるこ

と。西本先生は「聞き役」に徹しながらも、考えに行き詰まった時には打開するための糸口を示してくれたり、より深い考察ができるような確かなアドバイスをくれたり、あくまでも私たち学生の主体性を大切にしながらも、考える力を伸ばしてくれる、とても頼れる存在です。また、研究室に常駐しておられるので、気軽に立ち寄りいつでも相談できるのも嬉しいですね。

そんな研究室は、学びの場でもあり、学生たちの憩いの場。豊富に揃った文献を読んだり、ご飯を食べたり、仲間と語り合ったり…。他愛のない会話にも西本先生が加わって、楽しい時間を過ごしています。丁寧に指導してくださる先生であり、共に学ぶ仲間でもある親しみのある先生です。

先生から学生たちへのメッセージ

人間とところについて深く知りたい、資格を取得し将来住職になる、など、皆さんの入学の動機は様々であると思います。しかし、仏教科の学びは単に仏教の知識を身につけることが目的ではありません。仏教を通して「生きること」を考えるということにあります。生きるうえで抱える悩みや、他者との関わりの中で直面する問題について、仏教の教えをよりどころとし、「人間とは何か」「生きるとは何か」を問うていく学びです。

在学中、あるいは大学を卒業した後も、人生を歩んでいく中では、うまくいくこともあれば、挫折することもあるでしょう。そんな時にも自分の人生の尊さ、他者との関わりの大切さを見失うことのない生き方が仏教には説かれています。仏教の教えに聞き、仲間同士で自由に語り合い、自己を見つめ、人生を見つめる眼差しを育んでほしいと思います。

その学びが、仏教科で学んだ皆さん一人ひとりの人生を支える礎となることを願ってやみません。



ENJOY!

ライブ

アフタースクールをもっと楽しもう!
今回はおいしいハンバーグのお店
「グリル はせがわ」をご紹介します。
ぜひお友達と誘い合って出かけてみてね!

大谷大学との絆が生み出した究極のハンバーグ!?

おすすめはもちろんハンバーグ!
いたる所に店長のこだわりが溢れる
アットホームなお店

お店は店長ご自作の家具や食器でいっぱい、店長が10年かけて作り出した究極のハンバーグのおいしさはもちろん、一つのプレートにサラダ、スパゲッティなど店長が大切にしている3原色からなる色とりどりの食材が目から食欲をそそります。また弁当をテイクアウトすることができ、お店が満席の時には、お店以外の場所でもはせがわさんの味を楽しむことができます。



ど〜んと大きな
ハンバーグは
とってもジューシー!



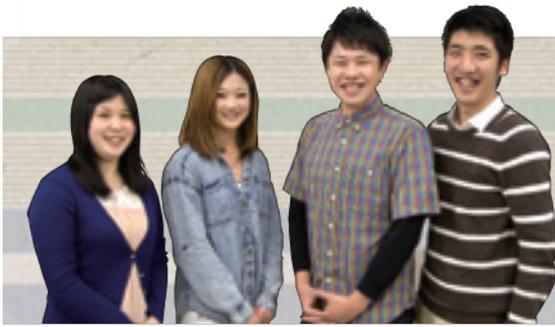
「大谷大学は私の青春!」
店長が語る
はせがわと大谷大学の関係

店長の長谷川さんは子供の頃から大谷大学とは親しみがあり、野球部の人たちとよくキャッチボールをしてもらったそうです。お店を開いてからは「店に大谷大学の人がない日はなかった」と言ってくださるほど、店長にとって大谷大学は人生で切り離せないものとなっています。「残りの人生は精一杯いろんなことにチャレンジしていきたい。それと同時に大谷大学が素晴らしい大学になるのを見守っていきたい」と言ってくださいました。



店内のインテリアも
ステキです!





今回は私たち
人文情報学科松川ゼミ所属の
4人が紹介します!

私たちは普段、文化財などを撮影し、映像化する取り組みをおこなっています。定期的にゼミコンパやメンバーの誕生日を祝ったりと和気あいあいと活動しています!

谷大

写真左より 宮戸田 彩音(人文情報学科第4学年)・小川 東紗(人文情報学科第4学年)・櫻木 大輝(人文情報学科第4学年)・藪内 駿(人文情報学科第4学年)

若い人たちはたくさんの事にチャレンジしよう! 可能性は無限大にある!

今回の取材で店長の長谷川さんが特に語ってくださった事は「若い人にはチャレンジをしてほしい」ということです。「自分の個性を出して、しんどいかもしれないが自分を磨いていって欲しい。できることなら私も若いころに戻りたい!」とおっしゃっていました。大谷大学のみなさんは一度、はせがわへ行って店長と話してみるのはいかがでしょうか? ためになります!



思い出したら
お腹すいてきた!



今回ご紹介したお店の情報はこちら!



店名 グリル はせがわ
住所 京都府京都市北区小山下内河原町68
交通 地下鉄烏丸線「北大路」駅より徒歩4分
営業時間 11:15~22:00(オーダーストップ21:00)
定休日 月曜日



ちょっとご紹介!

全国の高校生に向けて 大谷大学の魅力を伝えるため、 撮影・編集作業を全て私たちが担当!

人文情報学科メディアクリエイターコースの松川ゼミでは、全国の高校生に向けて大谷大学の魅力を伝える大学紹介ビデオを制作するプロジェクトに取り組んでいます。

学生目線で谷大の良さを伝えるため、撮影・編集作業を全て私たちが担当しています。授業風景やクラブ活動の様子をはじめ、さまざまな学内イベントにも参加し撮影しました。また、京都での様々な伝統行事に本学学生が参加する様子を撮影し、歴史ある京都の大谷大学として知ってもらえるよう制作しています。

このプロジェクトで制作したビデオは、大学ホームページやYouTube大谷大学チャンネルでもご覧いただけます。



2013年度 大谷大学教育後援会 文芸奨励賞

テーマ

時空を超えて残したいもの

*最優秀賞

文学部第4学年 国際文化学科 大槻 萌子

残すなら地面がいいな
 なかったら上も下も
 わからなくなっちゃおうし
 あと空気も
 皆が息をしていられるように。

*優秀賞

文学部第1学年 歴史学科 釜谷 紀子

未来にタイムマシンができたって
 何でも未来に持っていったって
 それを「夢みる心」は
 持っていけない

文学部第4学年 真宗学科 広瀬 達也

今私は生きている
 何の意味もないように見えるけど
 縁がなければ生きていけない
 そんな私が私は好きだ。

*佳作

文学部第4学年 哲学科 井上 慎也

鴨川に乱反射する、この夕日。
 眺めていたら夜だった。
 小さな悩みが、流れ星と消えた。
 来年は、誰かここで眺めたい

文学部第1学年 哲学科 内海 透雄

残したいもの、幸福な時間
 残すべきもの、凄惨な記憶
 実際に残せるもの、これからの努力次第

文学部第1学年 歴史学科 大倉 力哉

口うるさい母さんの言葉
 背中やかたる父さんの偉厳
 それを育てた祖父と祖母
 今こうして育てられたばかりは。

大学院修士課程 第1学年 教育・心理学専攻 北澤 光祐

夕間に
 帰る私の
 その先に
 家の灯と
 親の声。
 時を経て
 「人」が巡って
 しまっても
 お帰りの言葉
 私が繋ぐ。

文学部第4学年 哲学科 国分 大地

教育実習のため久しぶりに帰省
 学校の先生なんて務まるかしら
 と言いつつ、
 昔話を始める母は少し機嫌がいい

文学部第4学年 哲学科 佐藤 亜葵

じぶんより大事なものができると
 母になったひとが眩いた
 奇跡はあちらこちらに
 ちりばめられているらしい

文学部第2学年 社会学科 地福 祥吾

私が時空を超えて残したいものは
 安心して皆が眠ることができる毎日
 である。

文学部第1学年 哲学科 高内 一人

いつてきます
 いつてらっしゃい
 ください
 おかえり
 私達は送り迎えのあいさつです
 いつでも皆を見守ってます

文学部第1学年 仏教学科 三原 真澄

時空を超えて残せるものが
 あると思ってしまう
 傲慢さに気付ける心。

文学部第3学年 哲学科 横山 南

「なんにも思いつかないな」
 そう笑いながら話した
 友とのつながりを



文芸奨励賞表彰式
 2013年11月23日(土)

大谷大学教育後援会会長 高橋 法信

今年度は50字以内の自由表現で募集しましたところ180名の応募があり、作品はどれも個性あふれるものでした。自分を待つていくれる家庭、自分を受け入れてくれる家族や友、自然との共存、過去から学び未来に届ける今、等様々なメッセージが伝わってきました。それは、時代社会に縛られ、流され、慌ただしい日々を過ごす中から「悔いなき人生を生きたい」という叫びでもあるのでしょうか。

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

学長再任

【大谷大学長(第27代)
兼大谷大学短期大学部学長】
教授 草野 顕之
(任期は2016年3月31日まで)
2014年4月1日付

学監の交代

【学監副学長】
水島 見一(再任)
2014年4月1日付

副学長の交代

【教育学生支援担当副学長】
兼文学部長
木越 康
(前教育・学生支援担当副学長兼
文学部長 ロイス・ロバート・F.)
【研究国際交流担当副学長】
松川 節
(前研究国際交流担当副学長
浅見 直一郎)
2014年4月1日付(各通)

部長等の交代

【短期大学部長】
藤本 芳則
(前短期大学部長 山野 俊郎)
2014年4月1日付

幼稚園長の交代

【幼稚園長】
徳岡 博巳
(前幼稚園長 佐賀枝 夏文)
2014年4月1日付

館長等の交代

【図書館長】
番場 寛
(前図書館長 加藤 丈雄)
【博物館長】
齋藤 望(再任)
【真宗総合研究所長】
松川 節
(前真宗総合研究所長 浅見 直一郎)
【人權センター長】
藤原 正寿
(前人權センター長 谷 眞理)

定年退職

【博物館主事】
平野 寿則(再任)
【総合研究室主任】
加来 雄之
(前総合研究室主任 渡辺 啓真)
2014年4月1日付(各通)

教育職員

池上 哲司
(教授/文学部/哲学科)
池田 敬子
(教授/文学部/文学科)
木舩 憲幸
(教授/文学部/教育・心理学科)
佐賀枝 夏文
(教授/文学部/社会学科)
下道 省三
(教授/短期大学部/幼児教育保育科)
延塚 知道
(教授/文学部/真宗学科)
宮下 晴輝
(教授/文学部/仏教学科/人文情報学科)
【事務職員】
大平 達雄
瀧 正導
(学生支援部)
2014年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

【教育職員】
高橋 真
(任期制講師/文学部/人文情報学科)
中田 千穂
(任期制講師/短期大学部/幼児教育保育科)
今西 智久
(任期制助教/文学部/歴史学科)
河崎 豊
(任期制助教/文学部/仏教学科)
黒澤 祐介
(任期制助教/文学部/社会学科)
佐々木 秀英
(任期制助教/文学部/真宗学科)
鈴木 達明
(任期制助教/文学部/文学科)

相馬 晃

(任期制助教/文学部/真宗学科)

宋 基燦

(任期制助教/文学部/社会学科)

竹中 正太郎

(任期制助教/文学部/哲学科)

井上 朋子

(学生支援部)

小田 みづえ

(教育研究支援部)

杉江 かおり

(教育研究支援部)

福村 愛

(学生支援部)

藤森 麻子

(教育研究支援部)

松浦 健

(教育研究支援部)

中山 量純

(貫練学寮)
2014年3月31日付(各通)

依願退職

【教育職員】
山内 清郎
(准教授/文学部/教育・心理学科)
【事務職員】
大西 協子
(教育研究支援部)
太江 由佳理
(学生支援部)
2014年3月31日付(各通)
【事務系嘱託】
本多 美沙子
(企画・入試部)
野村 壮典
(企画・入試部)
2013年12月31日付
2014年2月28日付
【寮監】
亀山 幸恵
(自灯学寮)
2014年3月31日付

新規採用

【教育職員】

朝比奈 覚順
(教授/文学部/教育・心理学科)

荒瀬 克己

(教授/文学部/文学科)

上田 敏樹

(准教授/文学部/人文情報学科)

脇坂 真弥

(准教授/文学部/哲学科)

井黒 忍

(講師/文学部/歴史学科)

高橋 真

(講師/文学部/人文情報学科)

中野 加奈子

(講師/文学部/社会学科)

池田 敬子

(特別任用教授/文学部/文学科)

木舩 憲幸

(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)

下道 省三

(特別任用教授/短期大学部/幼児教育保育科)

延塚 知道

(特別任用教授/文学部/真宗学科)

赤澤 清孝

(任期制講師/文学部/社会学科)

矢野 永吏子

(短期制講師/短期大学部/幼児教育保育科)

青柳 英司

(任期制助教/文学部/真宗学科)

一澤 美帆

(任期制助教/文学部/文学科)

上田 早記子

(任期制助教/文学部/社会学科)

孫 知慧

(任期制助教/文学部/歴史学科)

中井 信介

(任期制助教/文学部/社会学科)

鳴 一志

(任期制助教/文学部/真宗学科)

林 晋雄

(任期制助教/文学部/哲学科)

堀田 和義

(任期制助教/文学部/仏教学科)

相馬 晃

(学生支援部)

田中 葵

(総務部)

松浦 健

(学生支援部)

山本 均

(学生支援部)

柏 淳子

(学生支援部)

神田 友恵

(教育研究支援部)

橘高 梓

(企画・入試部)

窪 浩子

(教育研究支援部)

小寺 祥世

(教育研究支援部)

塩見 優樹

(学生支援部)

鈴鹿 真知子

(企画・入試部)

段 敦子

(教育研究支援部)

井野 了慧

(貫練学寮)

田端 彩子

(自灯学寮)

西尾 浩二

(学習支援アドバイザー)

太田 路子

(学習支援アドバイザー)

竹花 洋佑

(学生支援部)

戸次 顕彰

(学生支援部)

松下 俊英

(学生支援部)

昇格

【教授】
太田 智子
(短期大学部/幼児教育保育科)
東館 紹見
(文学部/歴史学科)
村山 保史
(文学部/哲学科)
【准教授】
石本 哲子
(文学部/文学科)
ダシユシヨバラニ
(文学部/国際文化学科)
中川 眞二
(文学部/文学科)
2014年4月1日付(各通)

2014年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部・短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。2014年度の授業料のスライド率は、2013年度と同様0.00%とし、据置きとします。また、教育施設改善のための施設費および大学院の授業料も据え置き、2013年度と同額とします。

本学では2011年に今後の10年を見据えたグランドデザインを発表いたしました。このグランドデザインの実現を目標にし、教育研究の充実と学生生活、就職活動支援などのために学生の皆さんの学費を有効に利用し、様々な事業を実施します。

2014年度からは、英語の基礎、日本語の基礎である読み書きを中心とした教育の拠点となる学習支援室を開設し、きめ細やかな個別指導を実施します。

また、国際化のさらなる推進をめざして、学術交流協定校（現在20校）との学術交流や、語学研修としての海外研修を進めていきます。教職支援センターでは、教員採用試験や学校ボランティアのバックアップ等、教員をめざす学生のための支援を強化していきます。一方、改善の兆しはあるものの依然厳しい就職環境に対応したガイダンス・セミナー・講習の実施など、キャリア支援を強化し、学生のニーズに応じた支援活動に取り組んでいきます。また、情報教育の分野では人文情報学科でのiPadを配布しての教育を引き続き実施する

とともに、情報処理教室等のPCを更

改します。他方、施設面では、本部キャンパス整備計画のもと、教室棟の建替え計画を推進します。計画に当たっては、グループワークや学生参加型授業など多様な教育に対応できる教室や学生同士のコミュニケーションの場としての空間の整備をめざします。また、ユニバーサルデザインや環境に配慮し進めます。

学生納付金は一年分を「前期」と「後期」の二回に分けて、納入いただきます。前期学生納付金の納入期限は、4月21日(月)〔後期は9月30日(火)〕（銀行受付日付有効）です。振込依頼書は、保証人(学費負担者)宛に4月1日〔後期は8月末頃〕に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

なお、振込依頼書が届かない場合や、紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。

また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを4月21日(月)〔後期は9月30日(火)〕までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要となります。ご留意ください。

2014年度学生納付金一覧		学 費		その他の費用					合計額	
		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	※同窓会 入会金	※同窓会 終身会費		
前期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000			366,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000
後期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	593,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000	5,000	30,000	391,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000	5,000	30,000	401,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000

※ 本学では、学費のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用していますが、2014年度は据置きとしています。
 ※ 文学部第4学年、短期大学部第2学年、大学院修士課程第2学年、大学院博士後期課程第3学年に本年度進級する場合は、後期学費納入時に同窓会入会金と同窓会終身会費の納入が必要です。
 ※ なお、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など、過去に同窓会入会金・終身会費を納入されていれば不要です。
 ※ 休学をする場合は、在籍料として半期毎に60,000円(学部学科共通)の納入が必要です。納入期日は、4月21日(月)〔後期は9月30日(火)〕です(締切日厳守)。
 ※ 修業年限を超えての在籍者については、一定条件のもと授業料が減額されます。

教育後援会だより

2013年度 全国父母兄姉懇談会および中国地区父母兄姉懇談会開催について(報告)

9月21日(土)、大谷大学において「全国父母兄姉懇談会」が開催されました。

講堂では、大学の教育・研究や学生生活等についての現況が報告されました。また、人文情報学科による「JINGE N100」プロジェクトも紹介されました。このプロジェクトは、2013年に大学のシンボルである「赤レンガ(尋源館)」の落成式から丁度100周年を迎えたことを記念して実施されたものです。

大学現況報告等の後、希望者へ向け、キャリアセンターより就職状況についての説明がなされました。

その後、博覧館5階へ会場を移し、個別相談等が実施されました。個別相談では、「成績・進級」、「進路・就職」、「学生生活」等のコーナーが設けられ、熱心な相談が寄せられました。

同時に、「教員との個別懇談コーナー」も設けられ、多くのご父母兄姉と教員が直接懇談されていました。ご父母兄姉同士が交流する場にもなり、とても和やかな雰囲気のほか、有意義な時間となりました。

また、12月には広島市、岡山市において「中国地区父母兄姉懇談会」が開催され、学長はじめ、教育後援会役員や大学事務職員が赴き、当該地区の方々とじっくり懇談できる貴重な時間となりました。

2013年度 教育後援会事業について(報告)

2013年度の主な事業につきましては、教育後援会の趣旨に基づき、「父母兄姉懇談会」が開催されました。また、課外活動団体への活動補助や、キャリア・就職支援としての筆記試験模試・面接実践講座等に対する補助、学内食堂のメニューやビッグバレーカフェの日替わりパン等への補助、奨励金や奨学金の給付・貸与がなされました。

*詳しくは、8月発送予定の「教育後援会報告書」にて報告いたします。

2014年度 教育後援会行事について(お知らせ)

2014年度は、左記のとおり行事を開催する予定としております。

なお、全国父母兄姉懇談会は、学生指導上、「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年暦を鑑み、決定しております。是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

東北・関東地区父母兄姉懇談会*	
7月18日(金)	ホテルJALシティ仙台(宮城県仙台市)
7月19日(土)	TKP東京駅前カンファレンスセンター(東京都中央区)
全国父母兄姉懇談会	
9月20日(土)	大谷大学
東海地区父母兄姉懇談会*	
12月7日(日)	静岡グランドホテル中島屋(静岡県静岡市)
12月8日(月)	TKP名古屋ビジネスセンター(愛知県名古屋市中区)

*※当該地区に在住の父母兄姉等保証人へ案内



全国父母兄姉懇談会の様子



中国地区父母兄姉懇談会の様子

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催して様々な事業計画を企画・推進しています。

→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後も引き続き、募金のお申し込みを受け付けておりますので、ご支援賜われますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、本学の設立母体である学校法人真宗大谷学園では、広くご寄付を募るとともに利便性を高めるため、インターネットを利用したクレジットカード決済によるご寄付の受入れも行ってまいります。詳しくは、大学ホームページをご覧ください。

なお、2013年8月1日から2014年1月31日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。厚く御礼申しあげます。

教育振興資金寄付者(敬称略)

上田 隆雄(京都府)	赤レンガの会(昭和37年大谷大学入学同期会)
杉生 闌祐(福岡県)	赤松 秀隆
鎮西 良昭(新潟県)	秋月 亨観
土橋 賢治(大阪府)	大野 龍天
松代 暢(石川県)	小田 旨隆
山本 政男(兵庫県)	桑田 和夫
匿名3名	霜田 千代磨
	杉浦 立美
	鈴木 専英
	竹林 正憲
	千葉 孝一
光明坊「勝間 靖」(岡山県)	頼尊 聖
	光林 忠明
	星津 英昭
	藤田 浄元
	武鹿 照孝
	福島 南美子
	廣岡 恵雄
	日野 益良
	高山 恵俊
	中杉 隆臣

◆ 件数 11件
◆ 寄付金総額 670,000円

〒603-8143
京都市北区小山上総町
大谷大学総務部校友センター内
TEL : 075-411-8124
FAX : 075-411-8157
E-mail : kouyuu@sec.otani.ac.jp

●お問い合わせ先 教育振興資金事務局

税法上の優遇措置について
本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度、並びに税額控除に係る証明(税額控除制度)を受けておりますので、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

躍動と静けさの狭間で

野菜は茹ですぎ、パスタは逆に茹でる前の小麦粉の味、スープはミントが効きすぎて、歯磨き粉を飲み込んだようー20年前に初めて訪れたイギリスでは、「イギリスの食べ物はずい」という巷の噂を実感する日々だった。しかし昨年夏、イギリス南東に位置するカンタベリ語学研修引率で再訪したかの地の料理は驚くほど美味しくなっていた。90年代にイギリス料理改革運動が起こった成果を舌で感じたのである。

食に時の流れを感じたイギリスでは、人生の二つの道標に出会うこととなった。一つは他でもない、語学研修に参加した学生たちだ。のんびり屋さんに見えていた学生は、全て英語で行われる授業で積極的に議論に加わる。末っ子タイプに見えた学生が大人の顔になってイギリス人の子供にすっかりと日本文化を伝え、シャイだと思っていた学生が、生き生きとした笑顔で外国人の輪に飛び込む。そこには、「内向き志向」とマスコミに揶揄される若者の姿はなかった。広い世界に踏み出す行動力を持つ彼らを眩しく見る毎日だった。

もう一つの道標は、研修中に訪れた修道院跡地でのことだった。カンタベリを有数の巡礼地に発展させる基礎を築いた聖アウグスティヌスの名前を冠するこの修道院は、常に時代の波に翻弄され

てきた。11世紀にイングランドを支配したノルマン人は、先住するアングロ・サクソン人が作った敷地内建造物を破壊。16世紀にはイングランド王ヘンリー八世によって閉鎖される。ついには大嵐に倒れ、現在は廃墟となっている。

足を踏み入れた跡地で感じたのは、意外にも栄枯盛衰の虚しさではなく、深い安らぎだった。敷地をゆっくり歩くと、政治の暴風に曝されながらも、生きる意味を正面から見つめた当時の人々の思いの静ひつさに触れる気がした。

傍らに置かれたベンチに、老夫婦が言葉交わすでもなく、いつまでも座って廃墟を眺めていた。少し悲しげにも穏やかな表情にも見える彼らの胸に去来するのは何だったであろう。それは過ぎた日々に対する冷たい後悔ではないと、瓦礫に一輪だけ咲く赤い花が語っている、と思ったのは、私の願望だろうか。

時代を切り開いていく若い力と、人生を良く生きた老夫婦。その狭間に立ち、学生たちがいずれ人生の終着点に立った時、悔いなく生ききったと思えるよう、そして自らも彼らに恥ずかしくないよう全力で生きたいと願いながら、廃墟の後にした。



国際文化学科
准教授
三浦 史加
専門分野/
英文学・英米文化

時代を照らす仏教のことば

宝の山に入りて、
手を空しくして
帰ることなかれ。

源信『往生要集』『真宗聖教全書』

編集後記

今回は、「キャンパス紹介」に登場する学生4名に新入生へのメッセージとしてコメントをしてもらいました。ぜひ、新入生のみなさんには一読いただきそこから何か感じ取っていただきたいです。また、在学生のみなさんは、新入生だった頃のことを思い出していただけばと思います。

(編集担当)